

北城さだはる通信

荒川区民の命は、
荒川区が守る

2025
令和7年
新春号
その2

北城さだはる事務所

〒116-0002 東京都荒川区荒川3-37-1
TEL 03-3807-1567 FAX 03-3806-9567
<http://hojo.sadaharu.jp/>



プロフィール 昭和26年荒川生まれ。区立八峡小卒の荒川育ち、都立江北高校、立教大学法学部卒。
区議当選11回、都議当選1回。荒川区テニス連盟会長、卓球連盟会長、軟式野球連盟副会長、保護司。



令和7年各団体の新年会における北城さだはるの挨拶
各団体の課題解決に向け全力を尽くします。

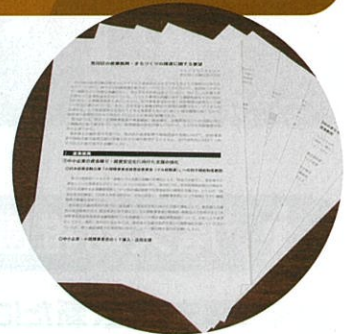
東京商工会議所荒川支部新年会

1月22日

昨年の7月29日に要望書をいただいた件につき、ご報告申し上げます。

- ① マル経融資への利子補助。令和7年度より1/2補助を実現させます。
- ② 設備投資補助の条件緩和については、現在区内における営業歴3年以上を1年以上に緩和し、利用しやすい補助制度になるよう令和7年に実現させます。

その他の課題についても全力を尽くします。



私立幼稚園等協会・父母の会連合会新年会

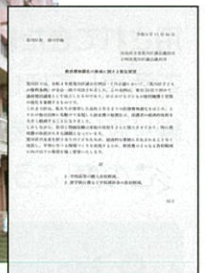
1月23日

昨年、自由民主党荒川区議会議員団・公明党荒川区議会議員団は、

- ① 学用品等の購入負担軽減、② 修学旅行費など、学校徴収金の負担軽減の教育無償化の推進に関する緊急要望を荒川区長に提出しました。

先々、皆様方に関係することですので、実現に向け全力を尽くします。

教育内容が充実している私立幼稚園の幼児教育に心より敬意を表し、感謝を申し上げます。



荒川区心身障害児者福祉連合会

1月31日

御礼とご報告申し上げます。1月6日の荒川区荒川区議会の新年祝賀会のお土産はひまわり作業所のパウンドケーキ・クッキー、小台橋あさがおのシュガーラスクでした。多くの方々から大変美味しかったというご連絡をいただきましたこと、ご報告申し上げます。

ウラ面へつづく ▶

私たち 1人1人の力は小さいけれども、大沼会長を中心に5つの団体が情報交換を行い、協力することにより、行政をも動かす大きな力になります。

私たちも連合会の方々と心を1つにして、様々な政策提言を行ってまいりました。

昨年は「荒川区障害者総合プラン」を策定し、また、令和2年に荒川区議会の強い要望を受け、開設された「基幹相談支援センター」は、昨年度は年間2,000件を超える相談を受け付けました。同時に医療的ケア時の支援強化を図ってまいりました。しかし、親なき後安心して託せる状況ではありません。

また、社会的孤立を防ぐ状況でもありません。そのような状況を直視し、それぞれのライフステージに沿った支援策構築のため全力を尽くしてまいります。



荒川区薬剤師会・荒川区学校薬剤師会新年会

2月1日



地域包括ケアシステムを実現するためには、かかりつけ薬局として安全かつ有効な医薬品を必要としている方々に提供する薬剤師会の方々のご協力が必要であります。

しかし、7年連続の薬価改定の影響などにより、医薬品の安定的な供給が困難な状況にあります。そのような状況を直視した時、地方議会も「安定的な医薬品の供給確保を求める」意見書を国に提出すべきであります。

薬物乱用防止ポスターのカレンダーの費用負担の補助を区に求めてまいります。

また、「薬局における街なか避暑地」のご協力と、災害時における「災害薬事」のご協力をお願いいたします。



尾久幼稚園閉園後の跡地活用について

建物は除去の上、新たに施設を整備し、学童クラブとして活用

昭和45年4月に開園以来、地域の子供たちの成長を支えてきた区立尾久幼稚園が令和7年3月末をもって廃止されます。

尾久幼稚園跡の活用については、これまで地元東尾久赤土町会の方々でも話し合いを重ね、長年子供施設として地元に親しまれ、地域イベントにも活用されてきた経過等を踏まえ、引き続き地域に開かれた子供関連施設として活用してほしい旨、令和5年9月4日、令和6年9月4日、令和7年2月4日に繰り返し要請を行ってきました。

この度、こうした要請が実を結び、定員超過が続いている赤土小学童クラブとして活用する方針が決定される。



- ① 今後は子供たちが暑い日でも雨の日でも活動できるよう、また、地元町会が学童クラブの休館の時イベントが開催できるよう、日よけ・雨覆いの可動式のオーニングの設置を求めていく。
- ② 新たな施設に設置される可能性のある、多目的ホールを学童クラブ休館の時、イベント開催時、地元町会が利用できるよう要請。
- ③ 尾久幼稚園の歴史を忘れないよう、園歌と鳩の園章を新施設の目を引く場所に掲示するよう要請。

